

議事概要

件 名	第 8 回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2023年 4 月 18 日(火) 17時 00 分～18時 30 分	場 所	土気公民館
主 催 者	JR 千葉支社・千葉市		
出 席 者	JR 東日本千葉支社千葉保線設備技術センター、千葉市道路計画課 土気地区町内自治会連絡協議会、土気町内会、あすみが丘東自治会、土気南 中央町内会、土気本町1組自治会、山の谷自治会、楓台自治会、梅が丘自治会		
打 合 せ 内 容			
1 開会挨拶、メンバー紹介(市、JR、地元)			
2 議事			
<ul style="list-style-type: none"> (1) 土気踏切と周辺道路の課題等について (2) 土気踏切周辺道路の安全対策について (3) 非常停止ボタン訓練時に頂いたご意見の対応 (4) 市の対策方針について (5) 今後の進め方について 			
<説明内容>			
(1)土気踏切と周辺道路の課題等について			
<ul style="list-style-type: none"> ・第 1～7 回までの主な内容を一覧整理し、振り返り。 			
【踏切の利用実態、リスク】			
<ul style="list-style-type: none"> ・土気踏切の利用実態調査結果を振り返り。 ・土気踏切に関する情報と課題について振り返り。 ・JR 千葉支社管内の踏切概況と事故発生状況の振り返り。 ・R5.4.9 土気踏切内で公衆(自転車)立入りの事象について報告。踏切内に自転車利用者が取り残される中、下り特急列車が非常ブレーキをかけたが、踏切から150m通り過ぎて停車。幸い、接触事故なし。 			
【迂回路となる周辺道路の課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ・大網街道、土気町 47 号線の歩道の現状の課題を振り返り。 			
(2)土気踏切周辺道路(大網街道・土気町 47 号線)の安全対策について			
<ul style="list-style-type: none"> ・対策事例の紹介 <li style="padding-left: 20px;">歩道の勾配解消、側溝蓋の交換、側溝蓋の改良、未舗装に舗設(振り返りで共有)。 <li style="padding-left: 20px;">路肩のカラー化、フルフラット化を紹介(今回追加)。 			
(3)非常停止ボタン訓練時に頂いたご意見の対応			
<ul style="list-style-type: none"> ・停止ボタンを利用しやすいよう整備した結果を報告。 ・砂利道の暫定舗装が出来ることになったことを報告。 			
(4)市の対策方針について			
<ul style="list-style-type: none"> ・踏切廃止の方針は変わらない。廃止のタイミングは、短期対策完了時としたい。 			
(5)今後の進め方について			
<ul style="list-style-type: none"> ・地元相談会で広く意見交換をしていきたい。勉強会はまだ継続していく予定である。 			

<意見交換>

(1)土気踏切と周辺道路の課題等について

■R5.4.9の踏切立ち入りについて

【地元からの意見】

- ・なんで立ち入ったのか。

【JRからの所見】

- ・直接聞き取りが出来ず、原因は不明。個人の特定も出来なかった。

【地元からの意見】

- ・自転車利用者が踏切内を通行中に、遮断機が下りたのか。

【JRからの所見】

- ・周りを見ていた人がいないので、詳しいことはわからない。
- ・非常停止ボタンは押されなかったため、周りに誰もいなかった可能性があり。状況は不明。

【地元からの意見】

- ・この件は土気踏切に限った話では無いよね。

【JRからの所見】

- ・おっしゃる通り。どこの踏切でも起こりうる可能性があるため、また悲惨な事故を起こさないためにも、土気踏切で起きてしまった立ち入り事象をご報告させていただいた。

(2)土気踏切周辺道路の安全対策について

【地元からの意見】

- ・蓋の上をカラー化すると、舗装ははがれるよ。
- ・フルフラットになって、白線の近くを通れというのか、自転車ではひかれそう。大網街道はカーブになっている。死角が生まれるので、危なさを感じる時がある。
- ・自転車に乗るので、フラットにしてもらった方が通りやすい。土気駅北口の東側もフラットにしているよね(銀行のATMがあったところ)。今はフラットになって歩きやすい。ただ、人が交差すると車道のほうにはみ出るのが心配。

【市からの所見】

- ・現道内で対策をした事例を紹介したもの。
- ・これらを複合的に組み合わせながら、波打ち歩道を解消し、安全性を高めたい。

(3)非常停止ボタン訓練時に頂いたご意見の対応

【地元からの意見】

- ・非常停止ボタンの改良など、対応して頂いてありがとう。明日確認してみる。

【市からの所見】

- ・砂利道については、道路境界が決まってないこと、また踏切の廃止方針を掲げる中、本来であれば舗装できない。しかしながら、踏切近くで転倒したことにより最悪の踏切事故に繋がらないようにするためにも、最低限の幅で暫定的に舗装することとなった。

【地元からの意見】

- ・廃止方針の中、対応して頂き、ありがたい。

(4)市の対策方針について

【地元からの意見】

・勉強会では歩道の安全対策について、もっと意見交換をすべきではないか。小手先の対策で終わらせるのはいかなものかと思う。

【市、JRからの所見】

・今後は、より具体的な安全対策について図面等を示しながら意見交換をしていきたい。

【地元からの意見】

・対策方針について、踏切廃止時期や対策の事業期間が明示されていないが、どのくらいになるのか。

【市からの所見】

・波打ち歩道の解消などの安全対策は、おおむね3～5年を想定しており、応急処置的な整備で終わらせるものとは考えていない。

【地元からの意見】

- ・廃止する方針は変わらないと説明があったが、それを变えていただきたいと思っている。利用する立場としては廃止してもらっては困る。
- ・残念ながら、陳情書は市議会の都市建設委員会で不採択となった。3名の議員は廃止反対に賛同してもらえたが、その他議員は、廃止の方向で良いと判断されてしまった。
- ・実態調査の結果、片道で70人くらい踏切を使っている。利用者数などの具体的な廃止基準はあるのか。
- ・歩道を歩きやすくしてから廃止するのが千葉市の方針だと思うが、担当者が2～3年ごとに変わる中で本当にしてくれるのかが心配だ。現実的に歩道幅員60cmのところをどうやって広げるのか、用地買収はできずに、U字溝を直すだけで終わりになってしまうのではないかと危惧している。
- ・アンダーパスはどうなのか。

【市、JRからの所見】

- ・踏切廃止に対する具体的な基準はない。
- ・短期的整備といっても、大網街道の整備にあたっては、それなりの金額がかかり、大掛かりな工事となってくる。また、必要な用地確保も行っていくつもりもある。
- ・そもそも、踏切は統廃合すべきという考え方がある。立体交差にすべきというご意見もあるが、利用者数や土気踏切の特性を踏まえると、立体交差は現実的ではない。なぜなら、整備費が高い上に、メンテナンス費も多くかかる。これらは全て税金で賄うこととなり、どこもかしこも立体交差にするということは市民理解が得られないと考えている。

【地元からの意見】

・歩道の整備にお金がかかるのであれば、踏切に障害物検知装置(レーザー)を設置した方がいいのではないかと。

【JRからの所見】

・踏切の利用実態や重大事故リスクの高さなどにより順次設置しているものの、千葉支社管内では設置率が4割ほどである。レーザーが設置されていれば安全性は向上するが、必ずしも列車が踏切手前で止まるとは限らない。

【地元からの意見】

- ・障害物検知装置(レーザー)はつけられないのか。

【JRからの所見】

- ・現時点ではわからない。なお、検知装置は踏切設備なので、JRが費用負担するもの。JRとしては、自動車通行量が多い踏切に対し、優先順位をつけて設置している。

【地元からの意見】

- ・外房線の中で廃止すべきところも多いのではないかと、他の踏切でもこういったことは行っているのか。
- ・迂回路の安全対策を行うより、踏切に横断歩道橋を架けた方が安いのではないかと。
- ・立ち入り事故を防止するための対策として、電車の運転手が確認するためのミラー設置は考えられないか。

【市、JRからの所見】

- ・他の踏切でも、総合的に判断して廃止協議を行っているところはある。
- ・繰り返しになるが、立体交差については、現実的ではない。
- ・土気踏切の見通し距離の確保に関しては、線路をまっすぐにするか、のり面を削るか、踏切をなくすしかない。他の方法はない。なお、特急の速さでは、止まるのは500m程度かかる。見通し距離が360mしかないので、どうしても踏切手前で止まれない。

【地元からの意見】

- ・市が廃止方針を掲げてる中、地元が廃止を反対したことで、数年、踏切が存続することになるが、存続している最中に、また事故が起きたら地元も責任を取れないし大変だ。万が一、また事故が起きたら、その時はすぐにでも踏切を廃止すべきではないか。先日の自転車利用者の立ち入りは、事故にならなくて済んだが、もし事故が起きていたら大変なことだった。

【市、JRからの所見】

- ・こういった、同様の事象に遭遇したら、慌てず踏切から出ていただくことと、危ないと思ったら迷わず非常ボタンを押してほしい。

(5) 今後の進め方について

【地元からの意見】

- ・地元相談会の8自治会以外のブロック区分けが気になる。実施方法が決まった段階で教えてほしい。

【市、JRからの所見】

- ・相談会の進め方は、具体的には決まってないが、自治会ごとで6月以降行っていきたい。
- ・次回の勉強会のタイミングは、相談会の後に行い、フィードバック形式で行いたい。次回以降の勉強会の開催にあたっては案内文を配らず、代表者に電話でお伝えしたい。
- ・勉強会は方針を決定する場ではなく、あくまで意見交換の場と考えている。
- ・ご意見を踏まえ判断するのは、市とJRであるため、市とJRの考えを自治会ごとにご説明させていただき、地元の方々との意見交換を進めさせて頂きたい。

(今後の進め方について、参席者から反対意見はなかった)